

『家康伊賀越え、逃走の京田辺を再現！』

■本能寺の変 天正10(1582)年6月2日 早朝

- 光秀 : 謀反を起こす
- 信長 : 本能寺に宿泊中に襲われ、四十九年の人生を終える
- 家康 : 上方遊覧が終わり、御礼をするため、堺の妙國寺を発ち京都へ向かう  
河内飯盛山付近でこの変報を受ける

■「神君伊賀越え」 家康一行:三日間の逃走ドラマ

- 苦難の道中、襲撃、協力者・道案内人
- 飯盛～尊延寺～京田辺～宇治田原(郷之口)～信楽～伊賀～白子～岡崎



## 主な出来事・経過

月日	時刻	出来事	場所	
6/2	4時	本能寺の変が起こる		
		家康、信長に上方遊覧の御礼に京都へ向かう	堺、平野、八尾	
	12時	茶屋四郎、本多忠勝に「信長自刃」を報告	交野	
	14時	忠勝、家康に変を伝える	飯盛山西麓	
	16時	三河に帰ることを決め出発 ※伊賀ルート選択（服部半蔵）		茶屋：銀子 本多：蜻蛉切り槍
		長谷川秀一：恩顧者に連絡、道案内を依頼	星田	宇治田原、信楽
	20時～	山中道に迷い、普賢寺の百姓新八と出会う 穂谷の白井家で休息・仮寝	穂谷、尊延寺	家康身分を明かす

6/3	～7時	新八と穂谷百姓忍兵衛の案内を受け 草内(くさじ)の渡しまで	宇頭城、普賢寺、 多々羅、興戸、 草内渡し場	家康から 証文を授かる
	8時	飯岡 小山太郎左衛門政清らに助けられ、 木津川を舟で渡る	木津川（増水中）	九寸七首を授かる
	10時	山口城から新主膳正末景、市野辺出雲守、 奥田仁義らが出迎え、宇治田原山口城へ	市辺、青谷、郷之口	山口城主 山口甚介秀康

# 家康逃走路と梅雪最期の場を訪ねる

9月27日(火) 9:30～12時 『ウォーキング』 約7km

JR三山木～山本～飯岡(古墳群、穴山梅雪の墓、蓮華寺跡、渡し場)～  
草内の渡し場～JR同志社前

ウォーク場所・他	説明、注目点、関連事項
穴山梅雪の墓	家康から1日遅れ、土民に追われ飯岡の渡しで自害、飯岡共同墓地、異なる2つの案内板、見性院(正室、信玄の三女、保科正之を養育)
蓮華寺跡	梅雪の墓を明治初めまで葬る
飯岡渡し場	梅雪自害の場、土地の人が憐れみ葬り塔を建てるが洪水で度々崩れる
草内渡し場	家康が渡った場、飯岡小山政清が助け九寸の匕首を賜る、くさじと読む
多々羅	渡来人による日本最初の外国蚕飼育(1C)・製鉄、筒城宮址、新宮社
古民家	築200年の大和棟、家康が近辺を逃走、ビオ多々羅
通過する所	山本、飯岡古墳群、豊田武兵衛碑(用水路)、咋岡神社、法泉寺 等







9:30 集合、出発  
 ① JR三山木  
 ② 穴山梅雪の墓  
 ③ 蓮華寺跡  
 ④ 飯岡渡し場  
 ⑤ 草内渡し場  
 ⑥ JR同志社前  
 12時頃 解散

家康が逃げた  
 ルート

■ 10/28(金) 9:30~12時  
 『伊賀越え』 シーズ②  
 三山木~宇頭城~普賢  
 寺谷~同志社前

■ 10/4(火) 13~16時  
 『逃走路研究』中間報告  
 伊賀越え全体の話  
 (京田辺市中央図書館)

JR京田辺 徒歩3分